

(3) 収支計画について

一般的に、公立文化施設の収支は以下で構成されています。

支 出	収 入
事業費	使用料収入
人件費	事業収入 (入場料、事業参加費、外部からの助成金など)
維持管理費	その他 (自動販売機、公衆電話、目的外利用等による収入)

I 支出想定(事業費、人件費、維持管理費ほか)

事業費、人件費、維持管理費のうち、事業費と人件費は、実施する事業の内容や管理運営により異なります。

A) 事業費

現在、総事業費については3,000万円～4,000万円程度と想定します。

【中長期的事業展開による事業費想定】 (単位:千円)

	事 業 費
初期:開館～5年程度	29,300
中期:開館5～10年後	31,600
長期:開館10年以降	39,100

B) 人件費

必要人員数を10～15人と想定し、平成24年度の観音寺市の平均給与(5,852(千円))を基に試算します。人件費としては、平均給与の他に諸経費がかかるため1割を加算して試算します。

$$\underline{6,440(千円) \times 10 \sim 15 \text{名} \approx 6,440 \text{万円} \sim 9,660 \text{万円}}$$

C) 維持管理費

維持管理費は、事業内容等に関わらず必要となる、施設を維持管理していく経費です。

- ・光熱水費:電気、ガス、水道料など
- ・警備費:施設の警備に係る経費
- ・清掃費:施設の清掃に係る経費
- ・設備メンテナンス費:施設が有する建築設備(空調設備、衛生設備など)の維持管理に必要なメンテナンス費用
- ・舞台関係保守点検費:舞台設備などホール施設特有の設備に係る保守点検の費用
- ・施設運営費:通信費(旅費・郵券等)、事務機器使用料、事務備品・消耗品費、備品修理費、利用案内等の印刷費など施設の運営に関する経費
- ・修繕費:建物や設備の補修や修繕を行うための経費
- ・その他:上記に含まれない経費

全国の既存施設を対象とした調査結果等からは、1㎡当たり9,000円～1万5,000円程度がかかるとされています。現在の施設計画から延べ床面積を8,400㎡とすると、

$$\underline{9,000 \text{円} \sim 1 \text{万} 5,000 \text{円} \times 8,400 \text{㎡} = 7,560 \text{万円} \sim 1 \text{億} 2,600 \text{万円}}$$

Ⅱ 収入想定(施設使用料収入、事業収入ほか)

① 使用料収入

社団法人全国公立文化施設協会が実施した、『公立文化施設現況調査－施設管理運営状況－』(発行:平成 12 年7月)によると、平成 10 年度におけるホール等の維持管理運営費における、使用料収入の割合は、以下のとおりでした。

	全国	中国四国地区
使用料収入率	29.8%	28.6%

この調査からは施設の施設運営経費に係る経費の約 30%程度が使用料収入と想定されます。維持管理費の想定からは、

7,560 万円～1億 2,600 万円×30% ≒ 2,300 万円～3,800 万円

② 事業収入

事業収入としては、主に入場料、事業参加費があり、現在の事業計画からは、**2,000 万円程度**と試算されます。

ただし、外部からの助成金や協賛金などの導入を積極的に図り、事業における自己財源比率を高めていく努力を行っていきます。

③ その他

ホール施設における、その他の収入としては、自動販売機、公衆電話、目的外利用による収入などがあげられます。

Ⅲ 収支想定

収 入		支 出	
事業収入	2,000 万円	事業費	3,000 万円～4,000 万円
使用料収入	2,300 万円～3,800 万円	人件費	6,440 万円～9,660 万円
		維持管理費	7,560 万円～1億 2,600 万円
合 計	4,300 万円～5,800 万円	合 計	1億 7,000 万円～2億 6,260 万円
収入－支出		▲1億 1,200 万円～▲2億 1,960 万円	